

公益財団法人さんりく基金
令和元年度第1回評議員会 議事録

1 開催の日時及び場所

- (1) 日時 令和元年6月12日(水) 午後1時30分から午後2時25分
(2) 場所 岩手県盛岡市内丸10番1号 岩手県民会館4階 第4会議室

2 評議員の現在数 評議員7名

3 出席者

- (1) 評議員 佐藤 廣昭 評議員 澤里 充男
 評議員 白水 伸英 評議員 高 泰久
 評議員 橋本 良隆

(2) 役員

業務執行理事 小笠原 隆行

(3) 事務局

事務局長	小笠原 隆行	事務局次長	畠山 剛
三陸DMOセンター長	平井 省三	総務管理部長	大釜 範之
企画事業部長	高橋 則仁	DMO事業部副部長	三上 克好
総務管理部副部長	小川 信子	事務局員	田村 優子
事務局員	川村 泉		

4 欠席者

評議員 藤代 博之 評議員 山崎 秀樹

5 議長

橋本 良隆

6 決議事項

- 第1号議案 平成30年度事業報告及び附属明細書の承認について
第2号議案 平成30年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び財産目録の承認について
第3号議案 公益財団法人さんりく基金定款の一部変更について
第4号議案 任期満了に伴う評議員の選任について
第5号議案 任期満了に伴う理事の選任について
第6号議案 任期満了に伴う監事の選任について

7 議事の経過

午後1時30分開会した。

小笠原業務執行理事が、評議員現在数7名中本人出席5名により定款第20条に定める定足数を満たしており、本評議員会は成立した旨を告げた。

また、本年3月の中居評議員の退任により、議長が空席となっており、また副議長の山崎評議員が欠席であることから本評議員会の議長を選出することとし、橋本評議員が選出された。以降の進行は、橋本議長により進められた。

なお、議事録署名人について、議長一任とされたので、議長は澤里評議員と白水評議員の2名を指名した。

報告 「職務執行の状況について」

小笠原業務執行理事が執行状況を報告した。

議長が、報告について質問、意見を求めたが、特に発言はなく、直ちに議案の審議に入った。

第1号議案「平成30年度事業報告及び附属明細書の承認について」

第2号議案「平成30年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録の承認について」

議長は第1号議案と第2号議案について関連があるとし、事務局に一括して説明を求め、畠山事務局次長が説明した。

議長が、第1号議案、第2号議案について一括して質問、意見を求めた。

【高評議員】

参考資料の「調査研究事業研究成果活用状況報告書」について、記載が少ないものがある。事業終了後継続実施していないなら、その理由やこれからの方針について等もう少し記載してほしい。

【大釜総務管理部長】

提出された報告書に関し、個別の状況については掘り下げて中身の確認まではとっていないが、調査研究事業の成果について、報告の機会を設け定期的に把握する取扱いとしていたので、次回以降は記載内容等しっかりと確認する。

議長が、他に質問、意見を求めたが、特に発言はなく、第1号議案及び第2号議案の賛否を諮ったところ、全員異議なくこれを可決した。

第3号議案「公益財団法人さんりく基金定款の一部変更について」

議長は、第3号議案について事務局に説明を求め、畠山事務局次長が説明した。

議長が、第3号議案について質問、意見を求めたが、特に発言はなく、第3号議案の賛否を諮ったところ、全員異議なくこれを可決した。

第4号議案「任期満了に伴う評議員の選任について」

議長は、第4号議案について事務局に説明を求め、畠山事務局次長が説明した。

議長が、第4号議案について質問、意見を求めたが、特に発言はなく、次のとおり評議員全員の選任について出席評議員全員一致で可決した。

(評議員)

窪田優一、佐藤廣昭、澤里充男、白水伸英、高泰久、橋本良隆、藤代博之

第5号議案「任期満了に伴う理事の選任について」

議長は、第5号議案について事務局に説明を求め、畠山事務局次長が説明した。

議長が、第5号議案について質問、意見を求めたが、特に発言はなく、次のとおり理事全員の選任について出席評議員全員一致で可決した。

(理事)

有賀義信、小笠原隆行、菅野信弘、熊谷敏裕、後藤均、保和衛、津田敦、中村一郎、平井省三、松田淳

第6号議案「任期満了に伴う監事の選任について」

議長は、第6号議案について事務局に説明を求め、畠山事務局次長が説明した。

議長が、第6号議案について質問、意見を求めたが、特に発言はなく、次のとおり監事全員の選任について出席評議員全員一致で可決した。

(監事)

菊池芳泉、佐藤修

その他「三陸観光振興の取組について」

議長はその他事項について説明を求め、平井三陸DMOセンター長が説明した。

議長が質問、意見を求めた。

【白水評議員】

「三陸へのツアー商品造成支援」について、今年度は開始したばかりで実績がないかと思うが、昨年度の実績は。傾向としてどういう助成がよく使われているか。

【平井三陸DMOセンター長】

「いわて三陸観光応援バス運行助成」は定期観光バスの運行であり、県北バスによる浄土ヶ浜から龍泉洞を巡るツアーで、年間81本の実績がある。「教育旅行バス運行助成」は非常に人気であり、今年度は既に予算額に達して締め切っている。今後も力を入れていきたい。「いわて三陸観光周遊バスツアー運行助成」は、毎年対象ツアーを変えて実施している。今年は、三陸防災復興プロジェクト2019の事業を盛り込んでいる。

残念なのが、「三陸地域エクスカッション等誘致促進事業費補助」は実績が低い。学会等の会場は盛岡や花巻が多いが、盛岡等での学会後、視察旅行を三陸にしましょうということで、働きかけてはいるが、なかなか定着しないのもっと力を入れなければならない。

【橋本評議員】

説明資料については、三陸DMOセンター独自のもの、県と一緒に取り組むもの、観光キャンペーン推進協議会で取り組むものがあるが、1つの三陸観光振興といったときに、具体的に各機関同士で、それぞれが推進している事業実施状況の情報共有の場はあるか。

【平井三陸DMOセンター長】

3つとも観光課が事務局となり一体的に推進している。これまでばらばらに情報発信し、実際に全体像としてどういうものなのか、なかなか御理解いただけない部分があったので、あえて今回このような形でまとめてお話しさせていただいた。一番大事なのは地元の三陸からの声をどうフィードバックしているかということ。現在三陸DMOセンターでは、4つのサテライトを設置し、コーディネーターを配置している。何かあればここから情報を吸い上げるような形態をとっている。

【橋本評議員】

有機的な形で連携を図りながら、より効果が出るよう進めていただき、情報の受け手にも伝わるようにより一層工夫してほしい。

議長が、その他質問、意見を求めたが、特に発言はなく終了した。

以上をもって議事の全部の審議及び報告等が終了したので、議長は午後2時25分閉会を宣し、解散した。